

書評

[評者]
佐藤健一
Healthway Japanese
Medical Centre 医師
(在シンガポール)



実践 Family Medicine

涌波 満 著

A5判 頁216 2011年
定価 2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)
[ISBN978-4-902122-39-8]
医療文化社刊(Fax 03-3593-0165)

この本を一通り読み終えた瞬間、「ここまでの知識を持って日々の診療を行っているんだ」と、驚きを隠せませんでした。

筆者の涌波満先生とは「ファミリークリニックきたなかぐすく」で4年間一緒に診療をしていたのですが、その当時から疾患面で膨大な量の知識や技術を持つだけでなく、病気の面でも患者さんや地域の視点に立った医療を常に心がけておられていました。

英文医学雑誌を見てはCMEを受けたり、専門医の資格更新のために米国に研修を受けに行くなど、新しい知識の入手も非常に早くて積極的でした。

当時から、悩んだ症例にぶつかって相談したときも、疾患面・病気面含めて的確なアドバイスをすぐにもらえていたのですが、本書を読んだ後に当時を思い返してみると、そのアドバイスとしてはこの本の中に書か

れているような視点からのものばかりでした。

疾患面ではガイドラインや分類を活用して世界のスタンダードに則って診療を行う。その一方で病気の面から患者さんや地域のコンテクストを取り入れながら診療を進めていく。この二つを両立して診療していくことは簡単なようで非常に困難な作業です。この両立させた診療が本書で再現されているので、本書を読んでもいくことで、「疾患面」と「病気の面」を組み合わせた診療を進めるための数多くのヒントを得ることができるようになるでしょう。

研修施設で学びながら日常診療に「疾患」と「病気」の両面をもっと取り入れていきたい研修医はもちろん、指導医がいない中で孤軍奮闘されている先生には、内科医、家庭医として診療を行っていくうえでの指導が本書を通して得られることと思います。